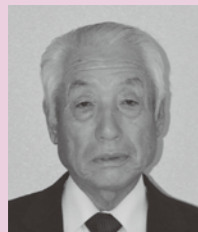


彩の国コミュニティ協議会長から

シラコバト賞

日ごろから、住みよい地域社会を実現するため、多くの方々が、長年にわたり実践活動を続けています。

シラコバト賞は、こうした個人や団体に対し贈られるものです。



心のふれあいを
深める活動
寄居チンドン座
(代表 権田文雄さん)

町の観光イベントへの出演を重ねるうちに、老人ホームや介護施設等から出演の依頼を受けるようになり、ボランティアとして出向いては、入所者に合わせたリバイバル曲を演奏することで大変喜ばれています。現在の活動範囲は、県内全域にまで拡大しました。こうした活動が評価され、今回の受賞となりました。



郷土を知り、
郷土を想う活動
佐太彦神社
浦安の舞保存会
(代表 相馬栄子さん)

地域伝統芸能の伝承と保存、後継者の育成、地域のコミュニケーションを図ることを目的に発足し、踊り子となる小学校高学年の女兒に、催しの約1カ月前から舞の指導を行っています。春祭りや夏祭り、地区敬老会でその成果を披露し、お年寄りから好評を博していることなどが評価され、今回の受賞となりました。



住みよくなる活動を
すすめる活動
木島仁作さん

寄居菊花愛好会会長として、菊を通じての地域の文化発展に貢献するとともに、会員の親睦と活動の一層の進展に力を注いでいます。また、町内の小学校を訪問し、生徒の情操教育の一環として菊作りの指導を行っており、こうしたコミュニティ活動が評価され、今回の受賞となりました。



産業功労賞受賞 田島兵作さん

11月14日に、埼玉会館で埼玉県民の日記念式典が行われ、田島兵作さん(用土7)が産業功労賞を受賞されました。

長年にわたり北武蔵用水土地改良区の監事、総代、理事、理事長として農業基盤整備事業の推進と地域農業の振興発展に努めるとともに、農業・農地をめぐる著しい情勢変化の中で、組合員の先頭に立ち積極的に事業推進と問題の解決に努められました。

田島さんは「今までの経験を生かしながら、生涯をかけて水を守っていききたいです」と話してくれました。



日本遺族会長表彰 塚越重吉さん

9月18日に行われた「日本遺族会創立65周年記念式典」で、寄居町遺族連合会長(現埼玉県遺族連合会副会長)の塚越重吉さん(栄町)が、遺族福祉の向上に長年尽力された功績が認められ、日本遺族会長から表彰されました。

塚越さんは「これを励みに、今後とも会員の皆さんとともに、世界の恒久平和を願いつつ遺族会活動に取り組んでいきます」と話してくれました。



彩の国優秀技能者(埼玉の美工)表彰 豊田 豊さん

11月29日に、彩の国優秀技能者の表彰式が行われ、彫刻家の豊田豊さん(露梨子)(有限会社豊田彫刻工房会長)が埼玉県知事から表彰されました。

豊田さんは、日光東照宮の国宝修復や靖国神社の建築装飾など主に社寺彫刻を手がけるほか、本町区の山車の彫刻など多くの作品に携わっています。

豊田さんは「今まで支えてくださった方々に感謝するとともに、今後も体力の続く限り仕事と向き合い、日々研鑽に努めていきたいです」と話してくれました。



全国老人クラブ連合会長表彰 田島貞雄さん

10月4日に行われた「全老連創立50周年記念全国老人クラブ大会」で、寄居町老人クラブ連合会会長(現埼玉県老人クラブ連合会常任理事)の田島貞雄さん(金尾)が、埼玉県老連役員として長年尽力された功績が認められ、老人クラブ育成功労として表彰されました。

田島さんは「これからも積極的に、高齢者の健康と仲間づくり、社会参加をモットーに、会員の皆さんとともに取り組んでいきます」と話してくれました。

さまざまな分野に
貢献された皆さんを

国や県などが表彰

佐々木源治さん 瑞宝単光章受章!

佐々木源治さん(男衾上郷北)が瑞宝単光章を受章されました。

佐々木さんは、昭和28年8月に海上保安庁へ入庁し、平成元年3月に退職されるまでの36年7カ月間、水路部(現海洋情報部)で職務を遂行されました。

測量船「第四海洋丸」に始まり「天海」「海洋」「明洋」「拓洋」での任務を経て、総トン数約1,800トン、全長80mの大型測量船「昭洋」の主任機関士を勤め上げました。

一年の半分以上を船上で過ごし、地形や海底の水路測量等を行い、そこで収集した情報は船舶の安全確保や海図、水路通報などに広く活用されました。

佐々木さんは「前を向いてひたむきに努力し続けたご褒美だと思ひ、とてもうれしく思います。やり逃げられたのは、周りの皆様のおかげです」と話してくれました。



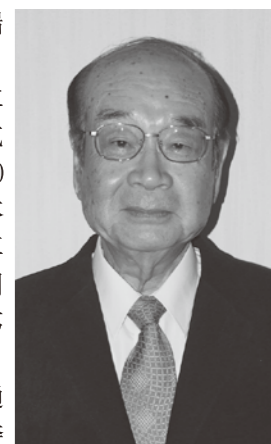
逸見忠正さん 瑞宝双光章受章!

逸見忠正さん(上の町)が瑞宝双光章を受章されました。

逸見さんは、昭和36年4月に埼玉県警察官を拝命し、平成13年3月に退職されるまでの40年間、県内の7警察署、県警本部などに勤務され、無線自動車警ら隊や機動捜査隊、防犯関係の職務などに携わり、常に第一線で活躍されました。

また、退職後は、埼玉県交通安全協会勤務、民生・児童委員、道路委員、衛生委員、区長を経て、公平委員会委員に選任され、現在もお町の発展のために尽力されています。

逸見さんは「自分がこのような名誉ある章をいただけるとは思いませんでした。これまでの努力が報われました。支えてくださった方々に大変感謝しております」と話してくれました。



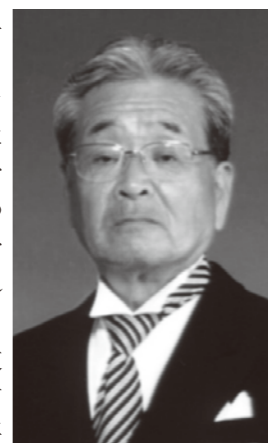
奥 克徳さん 瑞宝単光章受章!

奥克徳さん(立原)が瑞宝単光章を受章されました。

奥さんは、昭和44年4月に当時の寄居地区消防組合発足とともに消防吏員となり消防士を拝命され、以来39年の長きにわたり、地域住民の生命や財産を守るため、災害現場で奮闘されました。

現場の活動では、機関員、放水長、小隊長、救助隊長、通信係長、副分署長を歴任され、平成15年4月には予防課専門員、平成17年5月には寄居地区消防署副署長、平成18年4月には深谷消防署上柴分署副分署長として、災害防止に取り組まれました。

奥さんは「39年間にわたり消防業務に携わってこれたのも、職場の先輩、同僚、留守を守ってくれた家族をはじめ、大勢の方々の協力があつたからこそです。受章にあたり、皆様に感謝しています」と話してくれました。



黒瀬人功さん 瑞宝単光章受章!

黒瀬人功さん(折原上郷)が瑞宝単光章を受章されました。

黒瀬さんは、昭和42年4月に地元消防団に入団された後、昭和44年4月に発足した寄居地区消防組合の消防吏員となり消防士を拝命され、以来35年にわたり消防防災行政の発展に寄与されました。

現場の活動では、機関員、放水長、小隊長、中隊長、分署長を歴任され、火災の予防啓発と警防活動の実践に努め、地域の安全安心に貢献されました。

また、平成14年4月には、寄居地区消防署副署長に就任され、消防幹部として災害防止に多大なる功績を収められました。

黒瀬さんは「社会に貢献できる仕事に従事できうれしく思うと同時に、私を支えてくださった職場の仲間、消防団、地域関係者や家族に心から感謝しています」と話してくれました。

